



2020 年度 卒業生アンケート 結果報告

郡山女子大学短期大学部編（抜粋版）

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 回答状況について.....	2
3. 卒業後の就職状況について.....	2
4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの.....	2
5. 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか.....	3
6. 短大時代に身につけておくべきであると思うもの.....	3
7. 卒業生から在校生へのメッセージ.....	4

1. 調査の概要

・調査目的

卒業後3年が経過した卒業生へアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導および学習指導の参考とする。

・調査対象

郡山女子大学短期大学部の平成29年度卒業生

・アンケート期間

令和2年7月27日～令和2年9月18日

・送付数

短大252名（内訳：家政科福祉情報専攻19名、家政科食物栄養専攻42名、幼児教育学科142名、生活芸術科13名、音楽科10名、文化学科23名、専攻科文化学専攻3名）

※16名が未達返却

・回収率

49名（20.8%） ※未達分を除いて回収率を算出

内訳：家政科福祉情報専攻3名、家政科食物栄養専攻9名、幼児教育学科29名、生活芸術科2名、音楽科2名、文化学科3名、専攻科文化学専攻1名



2. 回答状況について

平成29年度就職決定者（2018年3月卒業）は252人おり、全員を対象として発送したが、返送があった人数は、49名となっている。

回答率は発送人数に対して20.8%（前年度13.9%）である。

3. 卒業後の就職状況について

回答があった49名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。学生の79%は卒業時の会社で勤務しており、就職サポートについて良好であるといえる。

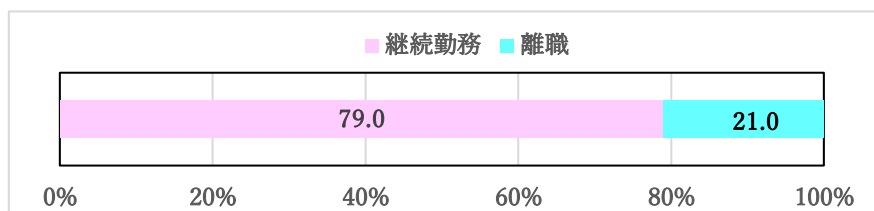


図 1. 勤務状況

4. 就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを12項目で評価してもらった。項目は、「企画力・創造力」、「問題解決力・分析力」、「判断力」、「データ処理力・事務処理能力」、「ストレスコントロール力」、「リーダーシップ」、「協調性」、「幅広い教養」、「英語力」、「プレゼンテーション力」、「特にない」、「その他」とした。

結果は、「特にない」が多い結果となった。この結果は、学科等での学びが就職へ結びついたケースが多いためと推測される。専門分野について学び、実際の現場での実習も行ってから就職となるため、必要十分だったと思われる。ただし、学びと実現場のギャップなどから、ストレスを感じることも多いと思われ、「ストレスコントロール力」が不足していたと感じたのではないか。学修で経験できる範囲は、実業務の一部だけであるため、在学中にインターンシップやボランティア活動など学外活動を多く経験していくことが重要ではないかと考える。

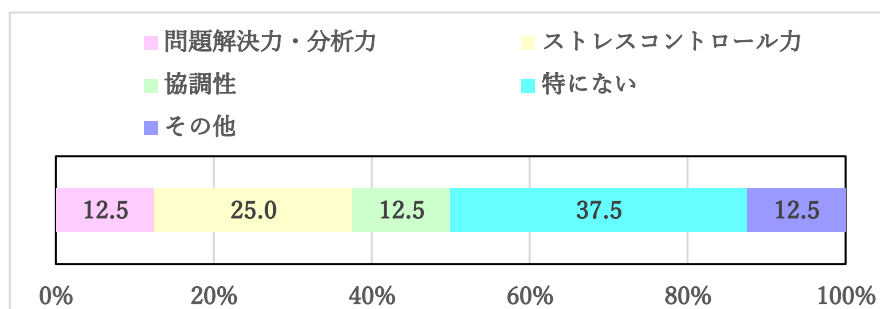


図 2. 就職活動を終えて自分に不足していた能力



5. 短大時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連がありますか

専門分野を活かした就職ができているかを確認するため、「大いに関連がある」、「やや関連がある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の4択で評価してもらった。結果は、「大いに関連がある」、「やや関連がある」あわせて約80%の学生が専門分野を生かした就職をしているという結果だった。短大は、短い期間で就職に必要な専門分野と教養を身に付け地域貢献を目的としているため、専門分野との関連が深い。

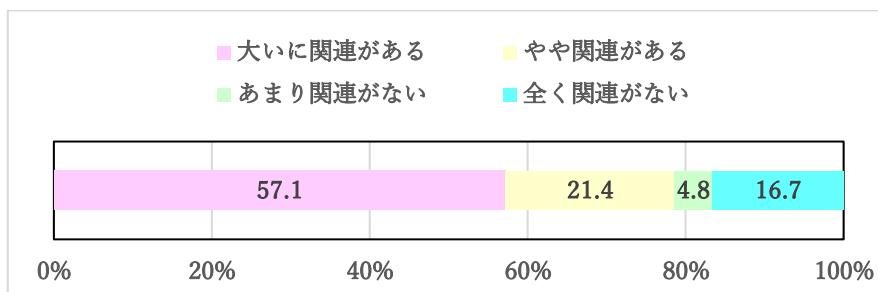


図3. 専門分野と仕事との関連

6. 短大時代に身につけておくべきであると思うもの

「専門知識」、「分析・考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「プレッシャーの中で力を発揮すること」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「他の人の知識や能力を結集する力」、「意図を明確に伝える力」、「リーダーシップ」、「パソコン技術」、「新たなアイデアや解決策を見つけ出す姿勢」、「文章能力」、「その他」など、13項目について確認した。中でも他の人と効率よく仕事をすると回答している学生が約19%と多い。実際の現場では、個人での仕事よりも部署を横断したチームでの仕事をする事となり、進捗管理やお互いの状況にあわせた対応が必要となるため、このように感じたと思われる。また、専門知識も基礎の繰り返しという場合もあるが、より専門的な内容が求められることもあるため、専門知識と回答したと思われる。インターンシップや実習を通し、専門知識の活用方法などを身に付ける機会を増やしていきたい。

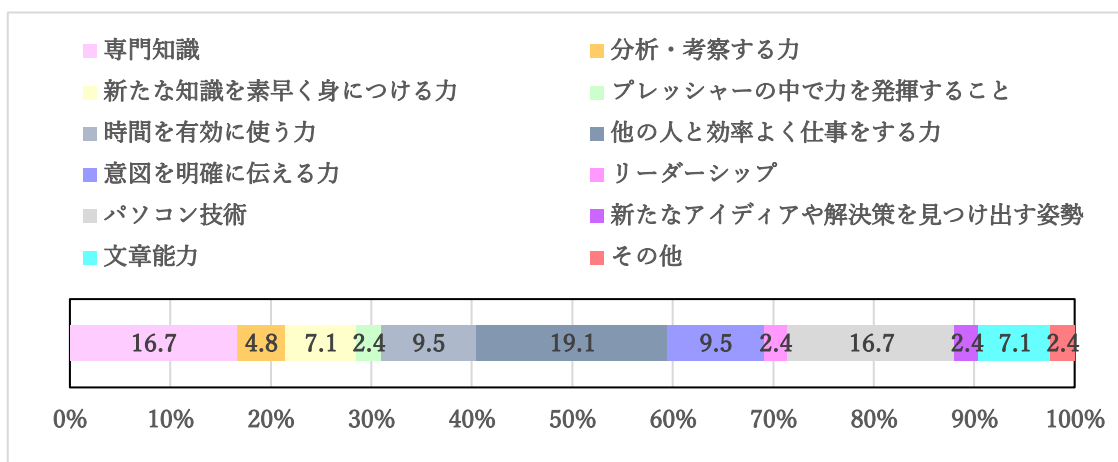


図5. 身につけておくべき力



7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

就職先の情報をよく調べて、面接してください。面接の時、エントリーシートに書いたことをそのまま言うのではなく、自分の言葉で発言した方が、面接官に良い印象を与えます。

大変ですが、頑張ってください。大学・短大で学んだ知識や得た資格が活かせる仕事についてほしい。

自分の好きなことや興味があることを仕事に活かせることは、とても幸せだと思います。自身と向き合い、自分はどんな仕事をしたいのか、もう一度振り返ってみてくださいね。

早く就職先を決めないと！と焦る必要はないと思います。自分に合っているところをしっかりと調べて考えて決めた方が楽しい仕事ができます。

社会へ出ると責任が強くなります。でも、それ以上にやりがいや嬉しいこと、楽しいことがたくさんあります。今は緊張するかもしれないけど、自分は何をしたいのか、どういうこと（明確に）をしたいのかじっくり考えて、就活してください。みんな応援しています！！

私は就職してからずっと毎日辞めたい…と思いながら働いていましたが、頑張っていて楽しくなり、かわいい子ども達、頼りになる先輩、同期と、毎日充実した日々を送っています。無理はしすぎず、頑張ってください！

“やってみたい”気持ちを大切に。

就職するにあたって色々な壁に当たったり、悩んだり、どうすればいいのか迷うことがこれから増えてくると思います。それを1人で悩むのではなく、アドバイザーや他の先生方に相談して、1つずつ解決して社会に向けて素敵な楽しい社会人生活が過ごせると思います！

「これはダメ。」「これは大丈夫。」と線引きできる力を持ってほしいと思います。（常識とは）そして、すぐ逃げ出さない。根性論かもしれませんが、少し辛くても頑張った先に何もなくても、頑張ったという過程が人を成長させます。諦めるな！！

将来の仕事に向かって、高校を卒業したら、大学や短大はしっかり学ぶべきだと思います。

大学・短大に学んだことを活用して、社会人になっても頑張ってください。